



石油由来のプラスチック製ストロー配布量を削減

2019年10月31日

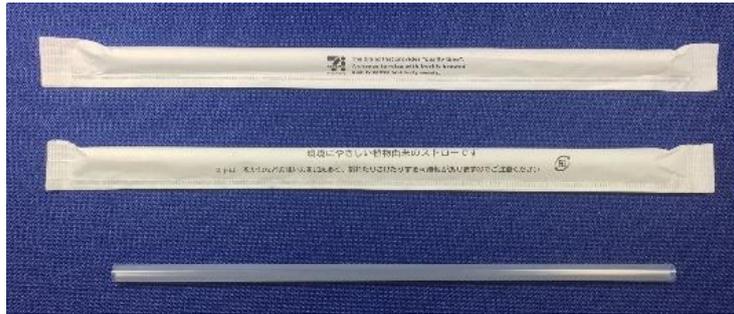
『セブンカフェ』用ストローの環境対応を推進

～11月5日（火）より全国のセブン-イレブンで順次スタート～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松文彦）は、『セブンカフェ』用のストローを環境配慮型の素材に変更し、11月5日（火）より全国のセブン-イレブン 21,010 店（2019年9月末現在）にて順次導入いたします。

セブン-イレブンではこのたび、8月より高知県内で試験導入していた、株式会社カネカ様による生分解性バイオポリマー「PHBH®」を採用した『セブンカフェ』用のストローの導入店舗を、全国のおよそ半数にあたる約 10,000 店に拡大いたします。また、残る約 11,000 店においては、FSC 認証を取得した紙製ストローに切り替え、セブン-イレブン全店において、石油由来のプラスチック製ストローの配布量削減に取り組み、『セブンカフェ』の環境対応を推進してまいります。

《概要》



【「PHBH®」製】

- ◆100%植物由来で、生分解性を有する、株式会社カネカ様のバイオポリマーを使用したストロー。
- ◆導入エリア店舗：北海道、北陸、関西、中部、四国、九州、沖縄の約 10,000 店に導入予定



【紙製】

- ◆FSC 認証を取得した環境に優しい紙製ストロー。
- ◆導入エリア店舗：首都圏および関東近郊、東北の約 11,000 店に導入予定



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。